

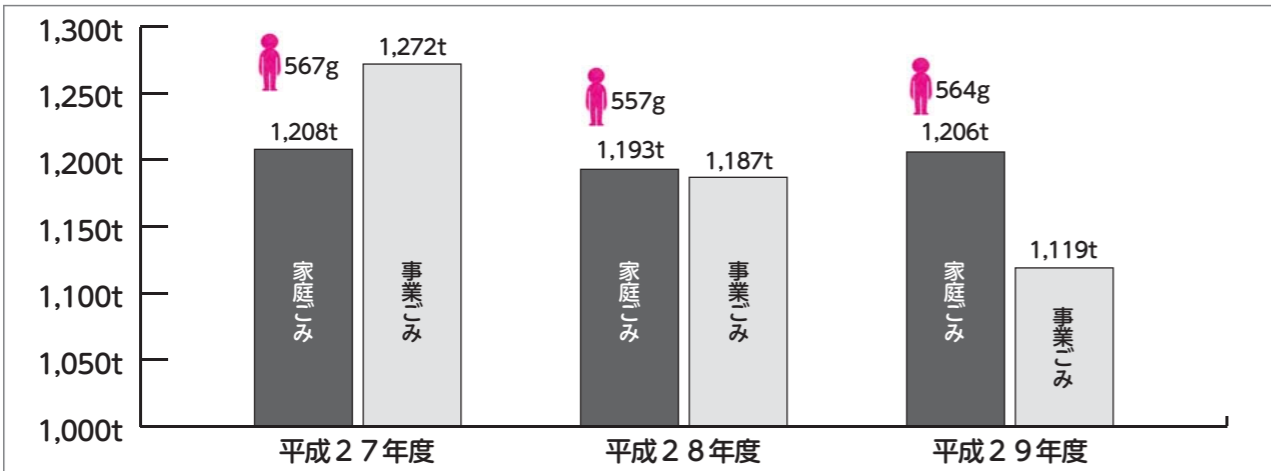
村内で排出されたごみ処理状況について

昨年度、村内で排出された廃棄物の総量は約2,325tとなりました。前年度より約55t減少しましたが、1人1日当たりの家庭ごみの排出量は約7g、1年間では約2.5kg増加しました。

全体で見ると排出量はまだ高い傾向にあり、処分時に発生する二酸化炭素の増加や埋立処分場の不足などのさまざまな問題が発生し、多くの税金が使われることとなります。

ごみの減量化は、一人一人の心掛けが大切ですので、ごみの分別や資源の有効活用に引き続きご理解・ご協力をお願いします。

村の廃棄物総排出量と1人1日当たりの家庭ごみ排出量(集団回収を除く)  1人1日当たりの家庭ごみ排出量



◆問い合わせ先 住民生活課 ☎341-8512

みんなで防ごう土砂災害 6月は土砂災害防止月間

土砂災害とは、主に大雨や地震等が引き金となって発生する土石流・がけ崩れ・地すべり等の自然災害です。土砂災害から命を守るためには、何よりも日頃の備えと早期の避難が重要ですので、『土砂災害防止月間』を機に、身の回りに潜む危険に目を向けてみてください。

土砂災害の主な前兆現象

土石流

- ・山鳴りがする
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざっている
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる

がけ崩れ

- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから水が湧き出ている
- ・がけから小石がパラパラと落ちる

地すべり

- ・沢や井戸の水が濁る
- ・地面にひび割れができる
- ・斜面から水がふき出す

危険を感じたら早めの避難

●危険箇所や避難場所、避難路を事前に把握

危険を感じた時に安全に避難できるよう、事前に確認しておきましょう。

●高齢者や乳幼児は早めに避難

避難の際、高齢者や乳幼児などの援護を必要とする方々の移動には時間がかかります。余裕をもって早めに避難しましょう。

●危険を感じたら迷わず避難

災害は突然やってきます。過去に土砂災害が発生していないからといって、これからも発生しないとは限りません。危険を感じたら、自ら率先して避難を始めましょう。

「ときわ台南」住宅団地の分譲について

「ときわ台南」住宅団地の、販売センター用地2区画を分譲します。

◆募集区画

所在地	土地面積	価格
ときわ台南5番8	237.21㎡(71.75坪)	6,001,000円
ときわ台南5番9	237.32㎡(71.78坪)	6,288,000円

◆公募期間

6月8日(金)～17日(日)

※17日(日)は正午まで

◆抽選会

6月17日(日) 午後2時～

ときわ台南販売センター

◆その他

(1)個人の方が対象で、一世帯で1区画のみの申し込みとなります。

また、申込者と契約者は同一者とし、権利譲渡はできません。

(2)当宅地は現在、ときわ台南販売センターと駐車場として使用しているため、土地の引渡しは9月上旬を予定しています。

◆申込・問い合わせ先

ときわ台南販売センター ☎344-5035

午前9時～午後5時45分(定休日:火・水曜日)



事業所訪問を行っています

村では、産業振興施策の参考とするため、村長が村内事業所の訪問を行っています。

4月12日(木)は、工業用バルブを製造している「株式会社本山製作所」を訪問し、工場内見学の後、情報交換を行いました。

今後も各事業所を訪問させていただく予定です。



▲事業所の概要説明



▲製品説明



万葉バスの平成29年度の利用者数は6路線合わせて30,717人でした。

路線別の運行便数と利用者数は次のとおりです。

万葉バス路線別運行便数・利用者数

路線名	年間運行便数	年間延べ利用者数
大森・中学校線	732便	11,133人
大森線	376便	689人
大瓜線	204便	823人
大森・榎田線	196便	275人
衡上・松原線	200便	569人
駒場線	2,600便	17,228人
合計	4,308便	30,717人